

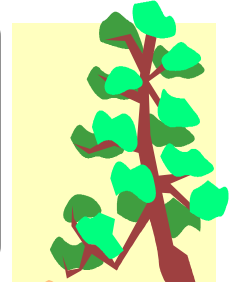


学校だより

令和3年7月12日

わかまつ

小松市立稚松小学校 校長 肩 恭子



「私のあさがおのはな、さいたよ!」「ミニトマト3つもできとったよ!」毎朝の元気な報告。夏がもうそこまでやってきているようです。

マスク生活が当たり前になり、まだまだ、新型コロナウイルス感染予防に十分気を付けなければいけない日々が続いていますが、1学期に予定していた学習・行事等は、いくつかの変更や中止はありましたが、終えることができました。ご理解ご協力ありがとうございました。

夏休み中の主な予定(7/21~8/30)

8/6(金) 全校登校日

8/10(火)~16(月) 学校閉庁日

8/23(月)~25(水) ウォームアップ

学校閉庁日(10日~16日の平日)において、コロナ関連など緊急連絡等ありましたら、小松市教育委員会学校教育課まで連絡してください。

0761-24-8122 (8:40~17:25)



小松市 SDGs 1校1プラン

「稚松を未来に伝えよう」

小松市が2019年「SDGs 未来都市」に文部科学省より選定されたことを受けて、各学校が「SDGs 1校1プラン」を考え地球みんなの幸せのために自分たちができることを考えられる学習を行っています。

稚松小学校では、教育理念である「活力ある学校・誇れる学校づくり」や、これまで生活科や総合的な学習での「地域」の学びを関連付け、SDGs 17の目標の中の『11 住み続けられるまちづくりを』をテーマとして選び、より魅力的なまちとして発展していくように、未来に残したい・伝えたい「稚松」を学ぶことにしました。

11 住み続けられる
まちづくりを



稚松小学校のテーマとねらい

テーマ 稚松を未来に伝えよう

ねらい 未来に伝えたい稚松の人やものやこと(歴史・文化・街並み等)を学ぶことを通してふるさとを誇りに思える子の育成



未来へ届ける、時を超える手紙

タイムカプセル郵便



お客様ご自身が数年後(10年後まで)の自分・大切な人に手紙を書いていただき、未来の指定する日に、未来の指定する場所に届くよう、お手紙を管理・差し出すサービスです。

お手紙は、内閣総理大臣認定の公益財団法人日本郵趣協会が大切に保管し、お届けの指定日に合わせ、差し出します。配達は、日本郵便株式会社が行います。

先日、小松市中央児童センターの創立40周年記念行事として、20年前に埋めたタイムカプセルの開封式が行われました。その中からは、未来の自分に宛てた手紙、大切にしていたおもちゃ・漫画、アイドル(初期のモーニング娘)のカレンダー、小泉首相時代の新聞など、懐かしいものがたくさん出てきました。

小松市中央児童センターでは、今度はタイムカプセルを埋めるのではなく、日本郵便の「タイムカプセル郵便」を利用した取り組みを行うことにしたそうです。児童館でも手紙の受付はしているそうですが、「料金はこちらで負担しますから、稚松小学校の皆さん、10年後の自分に手紙を書いてみませんか。」という嬉しいお誘いの言葉をいただき、稚松小学校児童全員が参加させていただけることになりました。

学校では、SDGs 1校1プラン「稚松を未来に伝えよう」の一つの学習として、さっそく学校で計画を立てています。既に、4年生は、毎年小松市内の小学4年生が将来の夢などを発表する小松テレビ制作「未来へのon air」の発表原稿をタイムカプセル郵便で10年後の自分に送ることにしています。各学年の取り組み終了後手紙を入れる児童センターから頂いた封筒をお子さんに渡します。あて先を記入し学校へご提出ください。(9月末が締め切りです)

手紙は、2031年の年始に届く予定だそうです。10年後、楽しみにしててください。

児童センターをはじめ、稚松校下町内会・稚松はつらつ協議会・稚松子ども育成会の皆様、ありがとうございました。



「小学校3階広場に展示
6/28
〜
7/2」

*途中住所変更等があり届け先が分からなくなった手紙は、全て児童センターに届けられることになっています。